

かさおか

発行所
天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)
電話 66-1311
FAX 66-1314



ケニアから初の修養科修了生・第867期
〈ンジュエ・サムエル・カリユキさん(25)写真後列中央〉
= 米府分教会 = (9月26日 笠岡詰所で)

教祖130年祭に向かって

三年千日 さあ！ おたすけ
祈る 動く つなぐ

立教176年
10月号



熱心に受講される

育成部(吉岡壽部長)では9月21日、大教会9月月次祭後、会議室で「よふぼく勉強会」を開催。25人が参加した。テーマは「にをいかけ」。講師は藤井正仁福富士分教会長。
自らの体験を通し、にをいかけを行う事により心が勇んでくると話された。

よふぼく勉強会開催
テーマは「にをいかけ」
9月月次祭後
育成部

少年会笠岡団(武内正美団長)では9月21日、大教会9月月次祭後、神殿で「第4回てっちゃんシアター」を開催、46人(少年会員31人・育成会員15人)が参加した。
少年会員が教会の月次祭に参拝し少しでも楽しさを感じてもらい、将来、教会につながってもらおうと祭典日が学校の休みを利用して行っているもの。
今回は「さすらいのアーティスト師」と呼ばれ親しまれている雑賀元生照雲分教会長が登場。参加の少年会員に風船を配り、犬の作り方を指導。熱中しすぎて風船を割ってしまう会員もいたが、完成

第4回「てっちゃんシアター」開催
9・21 祭典後
少年会

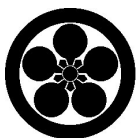
引き続き、テーマについての質疑応答が行われた。勉強会に先立ち月次祭後、神殿で同部おたすけ掛員より一人におさづけが取り次がれた。今回は秋季大祭後。テーマは「十全のご守護」。



少年会員でゴった返す神殿前

した可愛い「風船の犬」に一同大感激。好評のため再度、実施予定。
次回は12月21日(土)、12月月次祭後。一人でも多くの少年会員の参加を呼びかけている。
※バルーンアート
風船を使って動物などのオブジェを作ったり、デコレーションをしたりすること。空気を入れたバルーンをひねったり、むすんで連結させたりすることで、様々な楽しいオブジェを作ることができる。

<実行目標>人のたすかりを願ひましよう



おたすけ・お願いカード 集計：16,369枚

平成25年8月21日～9月20日

平成25年累計：67,523枚





勇んで神名流し

布教部(田中隆之部長)では、9月22、23の両日、同月28日から30日まで実施される「全教一斉にをいがけデー」に先駆けて、同部員を中心に、にをいがけ活動を行った。

22日、大教会霊祭後、同部員9人、有志2人が大教会から「天理王命」の幟を先頭に拍子木に合わせて、よろづよ八首を唱和しながら約1時間、

**先ず布教部員が
先頭に立って
全教一斉にをいがけデーに先立ち**

9月22日、23日
布教部



一手一つに鳴物練習

23日は午前9時、同部員6人、大教会に集合。10時過ぎ岡山教務支庁到着。岡山駅まで神名流しをした。全員、駅前で路傍講演をし、周辺の人にパンフレットを配布、正午に終えた。

喜びも湧いた。

近くの団地で神名を流した。犬に吠えられたり、袋小路に当たったりといろんなハプニングが起こった中も勇んで行った。

その後、活動地を品治分教会に移し、少し人数は減ったが全員、教会周辺で神名流しをした。引き続きパンフレットを持って戸別訪問に歩いた。同教会周辺は団地・アパートが点在。訪問中、話を聞いて下さる人もあり、年祭活動の匂と重なり喜びも湧いた。

**教会になくても
ならない人に成人しよう**

委員部長後継者講習会開催

婦人會

婦人會笠岡支部(上原きよ子支部長)では、9月22、23の両日、大教会で委員部長後継者講習会を開催、13人が参加した。

上原同支部長は、講話の中で自身の経験を交え「私達は親神様、教祖のご守護をつなぐお願いをさせて頂く事しかできないので、日々の徳積み、伏せ込みを通しての歩みの中から、信者の方々に對して心配りができるよふぼくであるよう、そして自分を育てていく普請をする事の努力を怠らず、皆に頼られ、教会になくてもならない人に成人してほしい」と話された。

大教会長様は、教祖130年祭の活動方針についてユーモアを交えて分かりやすく話され、喜びと勇みの心を持って通り切らせて頂くとうと決意を新たにした。

また二人の感話、練り合い、女鳴物練習、ひのきしんなど参加者は終始熱心に受講し、それぞれの教会で信者の方々、一人ひとりに寄り添い、相談の中心になって年祭活動に取り組む事を誓い合い解散した。



婦人会によって次々と紙が剥がされる



てきぱきと作業が進められた

障子張り替え

ひのきしん実施

10月3日・4日

管理部

管理部(武内清明部長)では、10月3、4の両日、大教会障子張り替えひのきしんを行い約100人が参加した。
3日は、婦人会が毎月午前10時から定例会を行っているが、この日は午前9時からのおつとめ

練習後からひのきしんに加わった。男性が神殿、信者室などの障子を取り外し、女性は紙を取りやすいように棧せんに水をかけ、次々と紙を剥がし午前中にほぼ終えた。
午後からは同部員に・婦人会・青年会・有志で洗った障子を外で乾かし、乾いた物から張り付けを行った。
4日も引き続き張り付け、取り付け作業を行った。例年になく早いペースで当初、3日間を予定していたが2日で無事終了した。

こころの詩

笠岡に繋がる教友の方が選ばれ掲載されてしまったので転載させて頂きます。おめでとうございます。

▼天理教道友社発行『天理時報』より転載

▽9月22日付「時報歌壇」

・海松ヶ岡分教会よふぼく 藤井光子さん

降るような蝉せみの鳴き声聞きながら

暑中見舞いの絵手紙を描く

・海松ヶ岡分教会ようぼく 池田広子さん

病名をあかした人の眼めの奥に

生きてやるぞと強き意志見ゆ

▽9月29日付「時報俳壇」

・備い中分教会よふぼく 塩飽利子さん

俳諧はいかいの今が青春豊ゆたかの秋

▼養徳社発行『陽気』誌十月号、「道柳」より転載。今回の課題は「前」。

▽秀 詠

・川島郷分教会前会長 香取敏子さん

前生を深く噛み締め道を往く

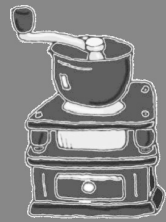
▽佳 詠

・東悠分教会前会長夫人 田林美智子さん

生かされて前生を知る因縁道

▼表紙写真 (上原喜三 詰所掛員)

談話室



この旬を生かして

芳井分教会 佐藤 和代

「義姉^{ねえ}さんは」使った割り箸を洗って使うの嫌じゃったよな——義妹^{いもうと}が、おつとめ衣をたたみながらニヤツとして言いました。

そういえば、そうだったかも!。「誰が使ったかわからない箸はあまり嬉しくない」そんな事を当然のように話していたような気がするなく。結婚して17年が経ち、本当にいろいろと変わったなあ。今割り箸どころか手でもいけるしなく。(笑)

その当時は、生まれてから結婚するまでの価値観があらゆる角度から揺さぶられて行く気がしてなりませんでした。

その中で右往左往しながらも時を過ごし、守るべきもの(可愛い子供たち)に助けられながら一緒に成長していったのだと思います。そうしていく中で自分の居場所も自然と与えていただけたようになってきた気がします。

今年6月末、私は、教会長夫妻おやさと研修会に参加し、その2日後、タンザニア布教に参加し

ました。夏休み中に参加した鼓笛隊やこどもおぢばがえり・英語講習会・少年会のキャンプ・少年会縦の伝道講習会、そのほかいろんな行事に参加させていだいて、ほんとにどれをとっても充実していて、「今、旬なんだなあ」と、感じさせられました。

「旬」——以前からよく聞かせていただくこの「旬」という言葉が、まさか自分の口から出てくるとは夢にも思っていませんでしたが、なぜか今、「旬」だと感じています。

さあ、そしてどう動かしていただけるか? 実際には難しいのですが、私はまず、声をかけることにしました。まずは実家! きつと何年経っても動いてくれないかもしれませんが、でもこの旬から声をかけてみる努力をすることにしたいです。

「あなたが助けなくて誰が助けるの?」

おやさと研修会で同じ班の方に相談したら、即答でこう言われました。私は、今回のタンザニアの旅の目的は、——実家に足を向けるように——実は、その前段階としてアフリカへ行かせてもらったと、後で思うようになりました。

なんとなくですが、全ての講習会や研修会や行事で、私に会った人、アドバイスをくださった人、どれもつながっていて、全て私のために準備してくださっているような気がしてなりませんでし

た。

アフリカから帰り、数日して実家へ行ってきました。17年も経つのに、一度も「おさづけ」をさせていたたくタイミングを持っていません、天理教という話題もあまり出さずにいました。

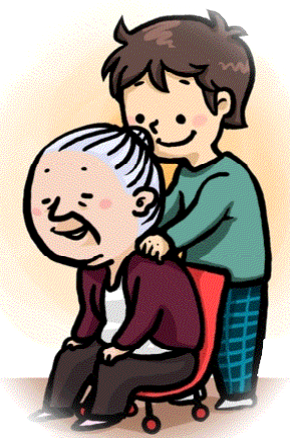
でも研修会でアドバイスしてくださった方の声を思いだし、思い切って「神様にお願ひさせていだいていい?」と聞くことができ、なんと、さりげなく父がおさづけを受けてくれました。ついで、なぜか妹も…。

タンザニアで、志郎先生に、「おさづけは、その人の魂に印をつけるんだよ!」と教えて頂きました。実家の父や妹にも、神様からの印がつかました。なぜか私は、涙でいっぱいでした。

「天理教に嫁いだから親不孝」——こういう気持ちでいっぱいだったこれまでから「教会へ嫁がせてよかった」と変わっていくような気がしています。

全ては神様の思い

の中にあり、繋がっているんだな。そう思えるようになりました。



教会おとまり会の報告

▼福満隊

実施日 平成25年7月13日(土)～14日(日)

1泊2日

参加者数 少年会員25人 育成会員15人

合計40人

プログラム

13日 16:00 受付
(土) 17:30 会長お話し、おつとめ練習
18:00 夕づとめ

14日 6:15 起床、洗面
(日) 7:00 朝づとめ、会長お話し
7:30 ひのきしん
8:00 朝食
9:00 海水浴、すいか割り
12:00 昼食
13:00 解散

所感 皆、話しを良く聞いて楽しく過ご



福満隊：集合写真

てくれました。おつとめも手ぶりを真剣に覚えようと努力してくれました。雨も各地でゲリラ的に降りましたが万事滞りなく終えることが出来、喜んでいきます。来年は中学生にも参加を呼びかけ、内容の向上を図りたいと思います。

▼芦常隊

実施日 平成25年8月2日(金)～4日(日)

2泊3日

参加者数 少年会員5人 女子高校生9人

育成会員7人 合計21人

プログラム

2日 16:00 集合
(金) 17:00～18:00 夏休み宿題

3日 7:00 朝づとめ、朝食
(土) 8:00 夏休み宿題、自由行動

12:00 昼食
16:00 三原高校演劇部女子生徒9人合宿
19:00 夕づとめ、会長お話し
21:00 夕食、女子生徒部活練習
22:30 入浴、就寝
4日 7:00 朝づとめ
(日) 少年会員と高校生と育成係

30 朝食
12:00 女子生徒、近くのお宮さん境内で部活練習を午前中
16:00 昼食、部活練習
解散

▼稲瀬隊

実施日 平成25年8月10日(土)～11日(日)

1泊2日

参加者数 少年会員4人 育成会員3人

合計7人

プログラム

10日 17:30 集合



芦常隊：会長お話し



芦常隊：三原高校のお姉さんたちとおつとめ

(土) 18:30 おつとめ(夕)

夕食、花火、就寝

11日 6:00 起床

(日) 朝づとめ、ひのきしん

朝食、かたづけ

9:00 川泳ぎ

昼食(バーベキュー)

昼食後 川泳ぎ

▼久松隊

実施日 平成25年8月12日(月)～13日(火)

1泊2日

参加者数 少年会員5人 育成会員6人

合計11人

内容 夕づとめ、ひのきしん、神様のおは

なし、お風呂、食事(バーベキュー)。

▼福東隊

実施日 平成25年8月17日(土)～18日(日)

参加者数 少年会員10人 育成会員5人

合計15人

プログラム

17日 16:00 教会集合、参拝

(土) 17:00 夕食

17:45 プール

19:30 帰会、夕づとめ、お話

21:30 消灯、就寝

18日 6:30 起床、洗面

(日) 7:00 朝づとめ

7:30 朝食

8:30 掃除、解散

所感 暑い中でありましたが、勇んでつと

めさせて頂くことができました。ありがとうございます。

いました。日程の仲でおつとめ練習を取り入れることができず、反省しております。お楽しみ行事を中心にプログラムをたてたようになり、おつとめの大切さを伝えさせて頂くことができませんでした。次回は反省をもとにつとめさせて頂きたいと思えます。

▼天場山隊

実施日 平成25年8月19日(月)〜20日(火)

参加者数 少年会員4人 育成会員2人
合計6人

内容 朝づとめ、夕づとめ、ひのきしん、お風呂、どこかへ出かける、食事、花火。

所感 もつとふやしたい。

▼甲井隊

実施日 平成25年8月19日(月)〜20日(火)

参加者数 少年会員5人 育成会員6人
合計11人

内容 朝づとめ、夕づとめ、ひのきしん、神様のおはなし、教祖のおはなし。

所感 今年は準備期間もなく、少年会員も少なかつたですが人数の多い少ないに関係なく

継続して、いづれ、毎月出来る様にしたいと思

います。

▼品治隊

実施日 平成25年8月23日(金)〜24日(土)

参加者数 少年会員3人 育成会員3人
合計6人

内容 朝づとめ、夕づとめ、ひのきしん、神様のおはなし、お風呂、DVD鑑賞、食事、スーパードールすくいなど。

所感 少年会員も中学生になるとなかなか参加者が減ったが少人数でもさせて頂くことが

出来ました。

▼引野隊

実施日 平成25年8月24日(土)

参加者数 少年会員6人 育成会員5人
合計11人

内容 ひのきしん、ゲーム、どこかへ出かける、食事。

所感 少年会員が全員まだ幼児の為、短時間で出来ることからやっています。これからですので先を楽しみにしています。

▼恵陽隊

実施日 平成25年8月24日(土)〜25日(日)

参加者数

1泊2日
少年会員 17人 育成会員 6人
合計23人

プログラム

24日 17:00 教会集合(受付)

(土) 18:00 おつとめ(会長のおはなし)

30 バーベキュー準備(全員で)

19:00 バーベキュー、花火

21:00 お風呂

22:00 就寝(仲々寝ない)

25日 6:00 起床(洗面、かたづけ)

(日) 30 おつとめ

7:00 朝食、自由時間

8:30 会長のおはなし

9:00 ぞうきがけひのきしん

10:00 出発。近くの体育館へ。球技大会。

12:30 昼食

1:30 おつとめ練習

2:30 おつとめ

終了、解散

所感 子供達はとても喜んで遊んでくれました。

若い者も子供達の親になったり友達になつたりとけこんで有りがたい時間がすごせました。

した。

▼川島郷隊

防災訓練お泊り会

実施日 平成25年9月21日(土)～22日(日)

プログラム

21日 18:00 受付、夕食
 (土) 19:00 夕づとめ、鳴り物学び、
 お話、防災学習・避難訓練

21:00 おやつタイム、自由時間
 22:00 消灯



惠陽隊：集合写真



川島郷隊：「防災訓練お泊り会」物品



川島郷隊：おつとめの練習

22日 5:30 起床、洗面
 (日) 6:00 朝つとめ
 7:00 朝食、片付け
 8:00 弁当作り、ひのきしん
 9:00 自由時間
 11:00 海岸へひのきしん、
 小競技会、ランチ
 11時半ごろ解散

無し(済ませてきてもらった)にして寝袋を使っ
 て全員が参拝場で休みました。寝袋は教区で拝
 借し、持っている人には持参してもらいました。
 鳴り物の練習の後、長男が職場の経験を生か
 して避難訓練や防災クイズをしたり、講話には
 災害救援の話を盛り込みました。
 また、翌日は朝食後にみんなでサンドイッチ
 を作り、沙美海岸まで移動してひのきしんをし
 ました。穏やかな晴天で気持ちよく、楽しかつ
 たです。

所感 準備などで
 少々疲れましたが、
 内容の濃いお泊り
 会ができたと思っ
 ています。
 今年の8月に自
 教会を「届け出避
 難所」として登録
 したので、市から
 の備蓄物資なども
 あり、こちらで用
 意したいろいろな
 防災グッズと共に
 こどもたちに見せ
 てあげました。
 また、お風呂は

温故知新

いきいきエピソード 29

しかしお歌では、かみがた、またやまとのちばと言っているが、元は知るまいとおっしゃっています。

一般の人は関西地方を上方と言うが、それは天子様がおられるからだろうけれども、実際はどこにあるか誰も解っていない。だからそういう事について、だんだん話をすると仰せ下さっているのです。しかもこのちばは、人間を最初に宿しこんだ場所であり、上方とはいわゆる神の館、世間で言う上方とは違うのです。こうしてぼつぼつと今まで解らないことをひとつひとつお教え下さるのです。

ここで間違わぬようにしてもらいたいのは、ちばは人間を宿しこんで頂いた所です。しかも三度宿しこまれた所ですが、いわゆる世間という生まれ故郷とは違います。生まれた所は七十五日かかって産みおろしてくださったのですが、第一番は、一宮、宮地。二番は二墓、墓地。三番は三原、原寺詣り所とおっしゃる。そしてそれは全国に拡がっているとおっしゃるので

す。

ここに出てくる七十五日とは、これは奈良長谷七里の間は七日、残る大和の国は四日、山城、伊賀、河内は十九日、残る日本国中四十五日、計七十五日かかって産みおろしたとおっしゃるのです。

このもとをくハしくいきいた事ならば

いかなものでもみなこいしなる 一五

大和のちばが上方であるという、その訳を詳しく聞いたならば、どんな人も、自分たちの宿し込みの場所であるちばが慕わしくなるであろうとおっしゃるのです。

きゝたくバたつねくるならゆてきかそ

よろづいさいのものいんねん 一六

このちばが恋しくなり、慕わしくなり、そのうえに聞きたいことがあるならば、幾らでも言つて聞かしてやる。またよろづ委細の元いんねんの話も、聞かしてやろうとおっしゃるのです。このいんねんとは、普通にいういんねんではなくて、根本のいわれ、この世の成り立ちをはじめ、すべての理という事です。

かみがでてなにかいさいをとくならバ

せかい一れつ心いさむる 一七

真実の元の親神様が、この世に現れて、ない

人間ない世界を創造した真実たすけ一条の道を詳しく説き聞かしたら、世界の人々の心は皆勇んでくる。

いちれつにはやくたすけをいそぐから

せかいの心いさめかゝりて 一八

誰彼の区別なくすべての人々を一日も早く助けたいから、親神様の胸の中を悟れるように、世界の人々の心を勇ませる。

以上は「みかぐらうた」のよろづよ八首と同じ意味のお歌であつて、それもこのおふでさきのお歌が出て、それからみかぐらうたの八首のお歌が出たのです。明治二年にこれが書かれて、明治三年にみかぐらうたのよろづよ八首をお創り下さいました。てをどりのみかぐらうたを教祖が最初にお創りくださったのは、一下り目から十二下り目までです。よろづよ八首はそれより後です。以上八首のお歌の中で「よろづいさい」の「いさい」とは、詳しく、こまかしくという意味と、いさい全部という意味の二通りに解釈する事ができます。(筆者注・稿本天理教教祖伝に、「年が明けると慶応三年、教祖七十歳の年、正月から八月迄に、十二下りの歌を作られた。各下りは、いずれも十首ずつの数え歌から成り、親神の望まれる陽気ぐらしの喜びに

充ちている。思えば、教祖は、教の創まり以来長い歳月の間、親神の思召のまにまに、一日として今日という日とてない中を、しかも勇んで通り抜けられ、こゝに目度く迎えられたのが、月日のやしろと成られて三十年目の慶応三年新春である。更に、明治三年には、よろづよ八首の歌を十二下りの歌の初めに加えられた。」とある。七三頁から七四頁)

立てられ、家では古手物、仕立物をして渡世をせられる。その年の暮れ頃には、舅姑を引き取ってもどうにか暮らして行くだけの自信が出来たらしい。然しこの間に立って最もお気の毒なのは、おせい様である。この時里子にやられたまま、その後の消息は絶えてなかった。風の便りでは天死せられたとも言う。」

以上で「おふでさきお話」からの引用を終わる。

初代が上原家のどん底の頃、大阪で苦勞していた時の事を述べた一節である。そういえば四代会長は何故「せい子！せい子！」と呼ばずに「おせい！おせい！」と呼んでいたのか不思議である。

ちよつと一言。八月三十日四代会長夫人・上原せい子様が出直された。

名前には四代会長は何か一つの思いがあったのかも知れない。娘に「さとよ」「なおみ」とつけているが、さとよは初代の「さと」なおみは初代の次女「おなを」を採っているのである。

昭和二十八年、大阪の中西家から笠岡の上原家に帰って来られた方である。

「おせい！おせい！」四代会長のおおきな声が会長宅に響きわたっていた。少しの時間でも、ほんとに寸暇を惜しんでにいがけ・おたすけに出掛ける人であった。呼んでも詮無いと思つて「おせいさん、またにいがけか」と諦めて小さく呟く人だった。

笠岡分教会史に、「窮すれば通ず。たしかに旧長様は窮せらるるの余り通ずる道を見出された。手足まといになる子達もそれぞれ方法

が響きわたるようになるかも知れない。とにかく、寸暇を惜しんでにいがけおたすけに出ておられた方だから。

(前史料部長)

第872期修養科募集要項

*修養科期間

立教176年11月1日～立教177年1月27日

*教養掛

3ヶ月間	田中隆之	(大教会役員・福山分教会長)
1ヶ月目	福島大介	(福満分教会長)
2ヶ月目	山田敏教	(大教会准役員・甲井分教会前会長)
3ヶ月目	渡邊孝信	(神驛分教会長)

*募集要項

- ・志願者は、11月末日現在で満17歳以上で、必要書類を携え、上級教会を經由して大教会に順序参拝すること。
- ・10月25日までに笠岡詰所に入所し、教養掛の面接を受けること。
- ・3ヶ月の修養期間を修了後は、大教会での修養科修了講習会を受講し、1月29日午前10時に解散。

<海外部>

○海外布教推進講習会

日時 11月21日(木) 祭典講話として
 講師 竹川俊治先生
 (飾東大教会部属・飾大分教会前会長)

<少年会>

○てっちゃんとおそぼう(わかぎ練成会)

日時 立教176年11月23日(土・勤労感謝の日)
 対象 中学1年生～3年生(わかぎ層)
 スタッフ大募集! 高校生～大学生の年齢層

プログラム

9:30 受付開始
 10:00 開講、おつとめ、育成会長様ご挨拶、オリエンテーション
 10:30 講話(中学生に教理を分かりやすくお話して頂きます。)
 11:00 子供会に向けての実技習得・紙芝居、折り紙、アートバルーン、
 ゲーム など
 13:00 昼食
 14:00 発表会(大教会にて子供会を開催)
 15:00 閉講 解散予定
 スタッフ集合 22日 19:00 (夕食を済ませて)

参加御供 300円

最終締め切り 11月21日

- ・各教会に募集チラシを配布致しますので、内容をご記入頂いて大教会、もしくは少年会委員までご提出下さい。
- ・教理の勉強や、人のために尽くす喜びを味わって頂けるようなプログラムを準備致しております。皆様、お声かけの方よろしくお願いたします。
- ・また、14:00より、子供会を開催致しますので、わかぎ以外の少年会員の方もぜひお越し下さい!

・原・稿・募・集・

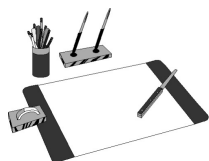
内 容

①小随筆 ②教会・布教所の独自の活動の紹介
 ③俳句・和歌・川柳 ④教会行事開催後の報告記事 等々

字 数

1000字前後(800字～1200字)
 題名・所属教会名・氏名を明記して下さい。
 俳句等は一句からでも結構です。

寄稿先



下記、大教会内『かさおか』編集掛宛ドシドシご寄稿下さい。
 郵便：〒714-0066 岡山県笠岡市用之江377
 FAX：0865-66-1314
 メール：tenkasa@yahoo.co.jp

尚、原稿はお返し致しませんので、予めご了承下さい。

立教百七十六年 九月月次祭 祭典役割表

胡弓	三味線	琴	小鼓	すりがね	太鼓	拍子木	ちゃんぽん	笛	てをどり			おつとめ			地方	役割 区分	講話	祭主		扨者	
									門脇	田中	大教会	上原	岡本	大教会				高木	中島	佐藤	杉原
今川	上原	虫明	上原	河原	笹尾	森本	谷内	上原	門脇	田中	大教会	上原	岡本	大教会	高木	中島	佐藤	坐り勤	大教会	杉原	門脇
佐智子	順子	好美	志郎	原節喜	尾正治	本忠平	内伸自	原浩	郁子	ますみ	奥様	繁道	久善	長善	昭祥	誠治	道孝		長様	博之	元教
三島	門脇	佐藤	赤木	横山	吉岡	中村	岡崎	内海	高木	岡崎	武内	今川	杉原	中村	武内	門脇	中村	前半	十一月講話	指図方	賛者
照美	加津	香苗	素志	山逸郎	岡誠一郎	村道徳	崎輝彦	海史郎	孝子	豊子	正美	昌彦	博之	剛	清明	元教	邦義		海外伝道講話	上原	武内
上原	笹尾	森本	虫明	田林	森本	渡邊	浅野	佐藤	横山	谷内	内海	三島	岡崎	岡崎	山田	田中	吉岡	後半		上原	武内
順子	一美	富美子	立生	久嗣	忠善	隆夫	明教	真孝	小智	美知子	安子	島涉	真一	和夫	敏教	隆之	壽			繁道	清明

立教百七十六年 秋季霊祭 祭典役割表

胡弓	三味線	琴	小鼓	すりがね	太鼓	拍子木	ちゃんぽん	笛	てをどり			おつとめ			地方	役割 区分	講話	祭主		扨者		
									佐藤 <th>上原 <th>大教会 <th>上原 <th>岡本 <th>大教会 <th>森本 <th>上原 <th>中村 <th>今川 <th>門脇 <th>藤井 <th>藤本 <th>矢田 <th>渡邊 <th>猪原 <th>雑賀 <th>今川 <th>笹尾 </th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th>	上原 <th>大教会 <th>上原 <th>岡本 <th>大教会 <th>森本 <th>上原 <th>中村 <th>今川 <th>門脇 <th>藤井 <th>藤本 <th>矢田 <th>渡邊 <th>猪原 <th>雑賀 <th>今川 <th>笹尾 </th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th>	大教会 <th>上原 <th>岡本 <th>大教会 <th>森本 <th>上原 <th>中村 <th>今川 <th>門脇 <th>藤井 <th>藤本 <th>矢田 <th>渡邊 <th>猪原 <th>雑賀 <th>今川 <th>笹尾 </th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th>	上原 <th>岡本 <th>大教会 <th>森本 <th>上原 <th>中村 <th>今川 <th>門脇 <th>藤井 <th>藤本 <th>矢田 <th>渡邊 <th>猪原 <th>雑賀 <th>今川 <th>笹尾 </th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th>	岡本 <th>大教会 <th>森本 <th>上原 <th>中村 <th>今川 <th>門脇 <th>藤井 <th>藤本 <th>矢田 <th>渡邊 <th>猪原 <th>雑賀 <th>今川 <th>笹尾 </th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th>	大教会 <th>森本 <th>上原 <th>中村 <th>今川 <th>門脇 <th>藤井 <th>藤本 <th>矢田 <th>渡邊 <th>猪原 <th>雑賀 <th>今川 <th>笹尾 </th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th>				森本 <th>上原 <th>中村 <th>今川 <th>門脇 <th>藤井 <th>藤本 <th>矢田 <th>渡邊 <th>猪原 <th>雑賀 <th>今川 <th>笹尾 </th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th>	上原 <th>中村 <th>今川 <th>門脇 <th>藤井 <th>藤本 <th>矢田 <th>渡邊 <th>猪原 <th>雑賀 <th>今川 <th>笹尾 </th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th>	中村 <th>今川 <th>門脇 <th>藤井 <th>藤本 <th>矢田 <th>渡邊 <th>猪原 <th>雑賀 <th>今川 <th>笹尾 </th></th></th></th></th></th></th></th></th></th>	今川 <th>門脇 <th>藤井 <th>藤本 <th>矢田 <th>渡邊 <th>猪原 <th>雑賀 <th>今川 <th>笹尾 </th></th></th></th></th></th></th></th></th>	門脇 <th>藤井 <th>藤本 <th>矢田 <th>渡邊 <th>猪原 <th>雑賀 <th>今川 <th>笹尾 </th></th></th></th></th></th></th></th>
虫明	武内	田中	佐藤	岡崎	田中	田林	門脇	今川	佐藤	上原	大教会	上原	岡本	大教会	森本	上原	中村	前半		大教会	今川	
好美	正美	ますみ	真孝	崎輝彦	隆之	久嗣	元教	昌彦	香苗	順子	奥様	繁道	久善	長善	忠善	浩	剛			長様	昌彦	
森本	内海	三島	仙田	渡邊	掛谷	小坂	岡田	仙田	笹尾	門脇	岡崎	藤井	藤本	矢田	渡邊	猪原	雑賀	後半		指図方	賛者	
富美子	安子	照美	公男	孝信	宣和	静宏	誠	勉	一美	加津	豊子	治喜	芳久	哲一	泰造	啓文	元生			吉岡	佐藤	
																				壽	真孝	
																					吉岡	誠一郎

九月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます

親神天理王命の御前に 会長上原理一慎んで申し上げます

親神様には「月日にハセカイぢううハみなわが子カハいい、ぱいこれが一ちよ」との親心のまに、日々は結構に恙なくお連れ通り下さっております。特に今はあれほど暑かった夏もせみの声が虫の音に変わると共に、朝晩めつきり涼しくなり秋の訪れを感じると共に、過ぎしやす日々をお与え下さいます。事は誠に有難く、勿体ない極みでございます。只一方では局地的な大雨による水害や竜巻による被害等が出て苦しむ人が多くいます。事は誠に残念でなりません。人々に先んじてこの道に引き寄せられました私共は、この残念立腹の姿に込められた親の思いすなわち我さえ良くばの心から救い合いの心への変換を一人でも多くの人に伝え、災害を少しでも減らしたいものと、日々は朝夕に御礼申し上げつつ、にをいあげ強調月の句とも相まって、にをいあげおたすけにと道の御用の上に勤め励ませて頂いております。

その中、本日は九月の月次祭をつとめる日柄でございますので、只今からお勤め奉仕人一同、日頃の喜び感謝・たすけ心も一人に明るく陽気に勇んで坐りづとめてをどりをつとめさせて頂きます。御前には一万六千三百六十九枚のおたすけお願いカードと共に今日の日を楽しみに寄り集いました道のことも達が相共にお歌を唱和し、同じ思いに伏し拝み尚も変わらぬ親心にお縋りする状を御覧下さいまして、親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます。

さて今月はをいあげ強調月という事で普段以上にをいあげに出させて頂きましたが、いよいよ二十八日から三十日は全教一斉にをいあげデーでございます。時間差はございますが、世界中の町や村で皆がにをいあげに歩いている姿を想像しながら楽しみ心を持ってにをいあげに出させて頂く所存でございます。又来月は、大祭月でございますので、直轄教会への大祭参拝をさせて頂きます。立教に込められた親心をより具現化する為に、教祖の年祭活動がある事を改めて思案させて頂き、年頭の心定め完遂を目指すと共に、教祖年祭に向けてあと二年三ヶ月余り力の限りにたすけ一条に邁進させて頂き、九年がかりの目標でありますおつとめ奉仕人増員を果たす事を誓い合いたいと存じます。

何卒親神様には、一切の人間思案を捨て親の思いを素直に受けたところから親のたすけは始まった立教の理にならない、素直に神一条に邁進する皆の誠真実の心をお受け取り下さいまして、万たすけの上に親心一杯の自由の御守護を賜り、人々の心を助け合いの心へとお導き下さいまして、お望み下さる陽気ぐらしの世の状が一日も早く実現しますようお導きの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます。

秋季霊祭祭文

これの笠岡大教会の祖霊殿にお鎮まり下さいませ 本席様の神霊 初代真柱様並びに奥様の神霊 二代真柱様の神霊 大教会創設の祖上原佐吉大人八重刀自の神霊 初代会長上原さと刀自の神霊 二代会長上原伊助大人光刀自の神霊 三代会長上原繁雄大人くに多刀自の神霊 四代会長上原郁雄大人の神霊 歴代会長と共に笠岡の道の上に多年に亘り御苦労下さいました役員 部内教会長 教人 よふぼく 信者 又本日新たにお鎮まり下さいました佐藤理生人大人 重政禎子刀自 三宅善久大人 雑賀明大人の神霊 諸々の神霊の前に 会長上原理一 慎んで申し上げます

祖霊様方には親神様・教祖のお見定めとお引き寄せにより世の人々に先んじてこのたすけ一条の道をお通り下さいました しかしその道は「やまさかやいばらぐろふもかけみちも つるぎのなか」というように荒道でございましたが 決して心を倒す事なく むしろ因縁納消と心楽しくお通り下さいました 今日のお道の結構な姿は もちろん親神様・教祖の御守護お導きの賜である事は申すまでもありませんが 又一つには皆様方のそうした真実の伏せ込み理作りの賜と 日々朝夕に御礼申し上げつつ 親心にお応えするべくたすけ一条の御用の上に努め励ませて頂いております

分けても本日は秋の霊祭を執り行う日柄でございますので 只今はおつとめ奉仕人並びに部内教会長代表の者 一手一つに陽気に勇んでてをどりをつとめさせて頂きました 又心づくしの旬の物を供え ありし日の面影を偲び 御遺徳を称えんものと御前に席を移し 言改めて御礼申し上げる状を御覧下さいまして 祖霊様にもお喜び下さいませよう お願い申し上げます

さて私共は教祖百三十年祭に向け三年千日と仕切つて成人の歩みを進めさせて頂いております 「さあ おたすけ！」とのスローガンのもと 「祈る・動く・つなぐ」を実践項目として一年目の本年は誰でもが実践しやすい内容で歩ませて頂いておりますが その内のおたすけ・お願いカードの数が月毎に増えており 確実に成人の歩みが浸透し広がりを見せている事を感じております これからも尚一層成人の歩みを早め 目標でありますおつとめ奉仕人の御守護を頂戴出来るよう心を一つに揃えて努めさせて頂きますので 何卒祖霊様には先達として今まで以上に親心を以てお見守り下さりお力添えを賜りますよう 一同と共に慎んでお願い申し上げます

大教会だより

Ⅱ 教会指令 Ⅱ

◎任命願

西伯 分教会

*前任 本多 一男
*新任 本多 正悟



本多正悟氏

☆奉告祭

立教176年10月13日
立教176年9月26日承認

◎第八六七期修養科修了

自 立教176年7月1日
至 立教176年9月27日
米 府 ンジュエサムエル
カリユキ

◎教人資格講習会修了者

立教176年10月11日終講
金 浦 樋 上 謙 二

◎本部食堂ひのきしん

自 立教176年10月1日
至 立教176年10月15日
吸江 山本 節子

◎立教176年秋季大祭参拝

輝照吸東海吳芳陶ひろ興金摩陽弥鶴久島神高福	美陽江悠松ヶ岡照井山山と明浦耶備高山山松根邊屋山	濃陽岡岡佐大教大教大教大教大教大教	佐岡岡岡佐大教大教大教大教大教大教	藤本崎藤道會會會長會長會長會長	道久和道奧奧奧奧奧奧奧奧	孝善夫孝孝孝孝孝孝孝孝
-----------------------	--------------------------	-------------------	-------------------	-----------------	--------------	-------------

新山邑 大教會長 義	皆部 中村 邦	明石市 大教會長 剛	上中市 中村 繁	府中市 上原 道	東城 岡崎 和	服部 大教會長 夫	島中 吉岡 壽	驛家 岡本 久	油木 河原 節	葦陽 岡本 久	湯田原 河原 節	備中 上原 繁	神昭 大教會長 道	美之郷 大教會長 義	錦備 大教會長 善	笠晴 上原 繁
------------	---------	------------	----------	----------	---------	-----------	---------	---------	---------	---------	----------	---------	-----------	------------	-----------	---------

計報

三嶋利夫氏

笠尋分教会前会長
10月3日出直されました。
享年 87才



八月二十五日、陽気ホールで、祈りくサムシングプレートとの対話く上映会がありました。白鳥哲監督の話です。欧米では祈りの研究が日本に比べて大変進んでおり、アメリカ国民の八十二%の方が、祈りによる癒しを信じており、さらにアメリカの医師の五十%が患者のために祈り、その祈りの研究だけで四万件の論文が発表されている。有名な実験として一九八八年に行われた、アメリカの東海岸から西海岸の病院に入院する心臓病患者三九三人を対象とした祈りの実験を、約一〇ヶ月間行わたって行われ、この時、祈りをする患者一九二人、祈りをしない患者二〇一人、祈ったグループには人工透析器に呼吸器、そして抗生物質の使用量が激減。呼吸器はほぼ〇%で呼吸器を外した。この結果を受けて、ある医師が「この結果は十分に精査に耐えうるものである。」「医師は朝

昼晩、一日三回、祈りをしなさい。」
「処方箋を書かなければいけない。」
「祈りは効くのである。」このように断言されている。また、ある大学教授が祈る行為は、呼吸器、心拍数、二酸化炭素の排出量、酸素の消費量を抑制させる事が確認された。このことから、祈るといふ行為が心臓病や癌、不妊症、様々な病気に大変有効であるといわれ始めている。祈りが時空を超えて変えていく力がある、もし、今この時代に人類が地球のために、エゴからの願いではなく、調和を目指した祈りが出来たら、この祈りが世界を変える。祈りは時空を超えて変化を与える。世界は祈りで一つになる。と話されています。
私たちは朝夕のおつとめ、お願いつとめで祈りを捧げて御守護頂ける日々を通りたいと思います。(む)

